

秋田市観光クチコミ大使委嘱式を開催いたしました！！

去る4月16日（木）、任期満了に伴い、継続意思の確認ができた大使への再委嘱と大使相互の横の繋がりを深めることを目的に、交流会を兼ねて改めて委嘱式を開催いたしました。当日は26名の大使の方々にご参加をいただき、三浦会頭から委嘱状の交付が行われました。

また、交流会では皆様から近況報告や活動実績のご報告をいただき、今後の活動に向けて大変参考となりました。ご出席いただいた皆様、ありがとうございました！

各大使からのコメント

- ・クチコミも一つの伝達ツールであるが、AR広告等のツールを導入し、秋田市観光クチコミ大使の名刺をもっと活用すべきだ。（今野大使）
- ・この職務を大変光栄に感じている。微力ながら、少しでも多くの人に秋田を知っていただき、秋田を訪れたいと思ってくれる人が増えれば、自分としてもやりがいにつながる。（畑澤大使）
- ・秋田を離れても、仕事を通して関わらせていただいている。今後も秋田のPRに全力を尽くしたい。（吉井大使）



会場の様子（AKITA DINING なまはげ銀座店）



マスコミで取り上げられました！

AAB「トレタテ！」平成27年4月17日 番組内にて放映

秋田魁新報 平成27年4月18日号 記事掲載

秋田魁新報 平成27年4月20日号 記事掲載

掲 載 日	掲載紙名
平成27年4月18日	秋田魁

首都圏で市の魅力広くPR

クチコミ大使に66人

秋田商議所 都内で委嘱状交付



委嘱式で交流を深めるクチ
コミ大使

秋田市の魅力を首都圏などで広く発信してもらう「秋田市観光クチコミ大使」の委嘱式が16日、東京・銀座の「AKITA DINING」なまはげ」銀座店で行われ、首都圏の秋田市出身者や同市ゆかりの経済人らが交流を深めた。

クチコミ大使は秋田商工会議所が、秋田アステイネーションキャンペーンや国民文化祭を機に秋田市への誘客を増やそうと2012年度に企画。今年3月末までに61人に秋田市とのパイプ役として活躍してもらった。本年度は新たに5人が加わり、計66人を委嘱した。任期は18年3月末までの3年間。

この日は大使26人のほか、秋田商議所の6人が出席した。三浦廣巳会頭が「アペノ

ミクス効果は秋田の足元には届いていないが、中小企業の元気はこれから仕掛けていかなければならない。大使の皆さんには知恵と行動力を貸していただきたい」とあいさつ。出席者を代表し、JTBワールドバケーションズの石森隆取締役総務部長と、新たに大使となった前日本銀行秋田支店長で杏林大総合政策学部の小田信之教授にそれぞれ委嘱状を手渡した。

小田さんは「秋田では2年間、仕事でもプライベートでもお世話になったので、今度はいろんな面で恩返ししたい」と話し、大使としての協力を約束した。

(渡辺歩)

掲 載 日	掲載紙名
平成27年4月20日	秋田魁

北斗星

旅先では地元の人に努めて秋田の印象を尋ねることにしている。他県の人々が本県をどう見ているかは結構気になるし、じかに話を聞くことで刺激を受けるケースもよくあるからだ▼中でもうれしくなるのは、本県出身者や本県に縁のある人が秋田のイメージアップに役立っている話を聞いたときだ。そんな人たちがいることを知ると、異郷で初めて会った人との距離もぐんと縮まる▼三重県伊勢市ではたまたま乗ったタクシーの運転手が「同僚の奥さんが秋田市の出身で、郷土料理でもてなしてくれるんです」と声を弾ませていた。熊本県水俣市では旅館の主人が「大仙市に親類がいる近所の人に、秋田はいい所だから一度行ってみたいとよく勧められます」と笑顔で話していた

▼本県とつながりのある人は地域や分野を問わず、いろいろなところにいる。秋田をよく知る人が発する情報は説得力を持つ。だからこそ秋田商工会議所が3年前から取り組む「秋田市観光クチコミ大使」には期待が膨らむ▼秋田の魅力が首都圏に広く知ってもらおうのが狙い。本年度の大使は66人。秋田市出身者や同市で勤務経験のある経済人らに委嘱した。それぞれ一番お薦めの情報をどれくらい発信してくれるのか楽しみだ▼ネット社会で虚実入り交じった情報があふれているせいか、信頼できる口コミの効果が再認識されているようだ。東京はもちろん全国の県人会や秋田ファンとも連携し、口コミをもっと広げていければと思う。

（2015.4.20）